

本復旧水路掘削に伴う仮設橋梁の架設について

～市野々原地区 河道閉塞(天然ダム)対策工事～

岩手河川国道事務所では、昨年(平成20年)の岩手・宮城内陸地震で発生した市野々原地区の河道閉塞について、今後起こりうる二次災害から一関市街地を保全するため、2戸の家屋移転にご協力いただき、国道342号の付け替えと本復旧水路の掘削を行っています。

本復旧水路の掘削に伴い川幅が広くなることから、新たに仮橋(橋長約52m、幅員4m)を設置するものです。

1. 仮設橋梁の架設実施日時、実施場所

日時：平成21年7月27日(月) 11:00～15:00

場所：一関市巖美町市野々原地区

※ただし、前日及び当日の気象等の状況により、延期となる場合があります。

2. 仮設橋梁の架設内容(別紙のとおり)

<発表記者会:岩手県政記者クラブ>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

盛岡市上田四丁目2-2 (電話:019-624-3198)

建設監督官 桜田 勉 (内線505)

一関出張所

一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81 (電話:0191-23-2435)

一関出張所長 高橋 忠良 (内線:62-21)

仮設橋梁の架設について

【今回設置する仮設橋梁の概要】

発注者: 国土交通省

設置目的: 工事用車両の通行(土砂、資材の運搬用)

橋長: 全長L=約52m(中央径間部分L=約30m)

形式: プレートガーダー橋(鋼板等を組み合わせて断面がI形状となるようにした橋)

設置作業期間: 平成21年7月14日~8月1日(約20日間程度を予定)

設置方法: 当日は中央径間部分のI形状の鋼板3つを100トン吊りクレーンで設置。

鋼板1つあたりの重量は約11トン。

概算設置費用: 約40百万円程度

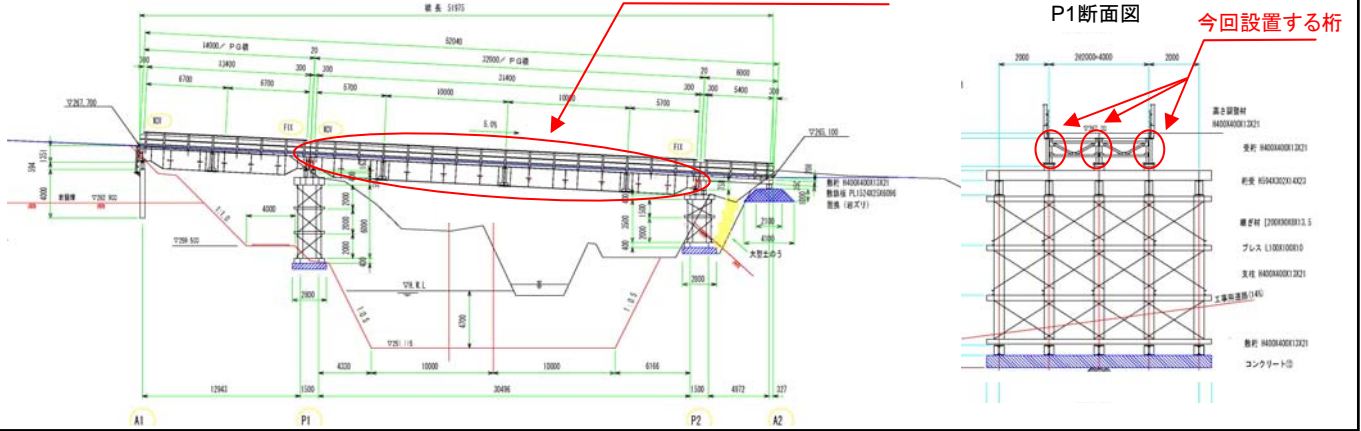
※工事用車両用の仮橋であり、一般車、見学者は通行できません。

側面図

今回設置する桁(中央径間部分)

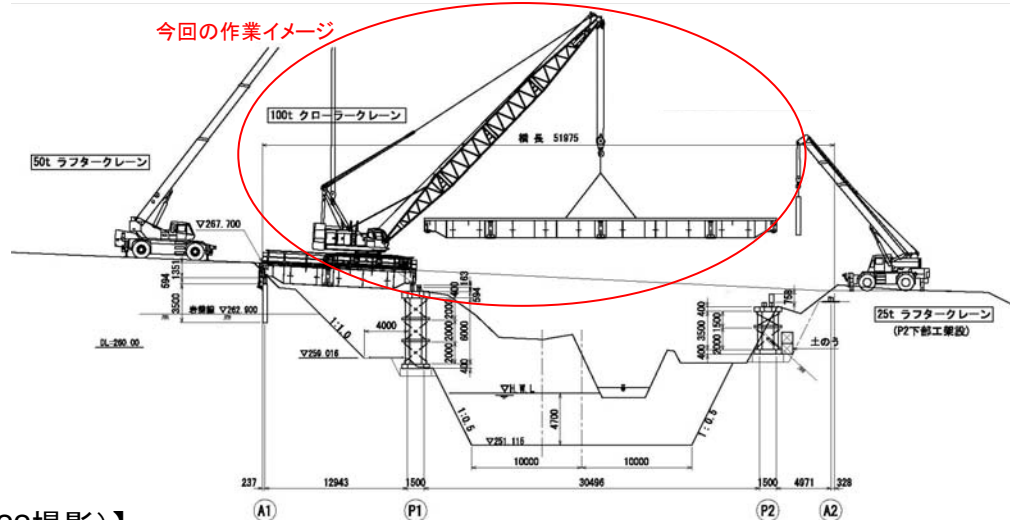
P1断面図

今回設置する桁



【設置のイメージ】

今回の作業イメージ



【現在の現場状況(7/22撮影)】

